

いわき農林水産ニュース

(ごちそう ふくしま絆づくり運動ニュース)



11月号 発行 平成23年11月25日

〈東日本大震災関連〉



「いわき地方の農林産物モニタリング調査結果」について

福島県が行ったいわき地方の10月の農林畜産物のモニタリング調査結果をお知らせします。

調査は、162点で行い、セシウムの検出限界値以下が124点、暫定規制値内で検出されたもの37点、規制値を超えたものが1点でした。

規制値を超えたのは、露地栽培の原木ナメコで、検出限界値以下であった124点の内訳は、野菜7点、果物5点、根菜・芋類は調査した14点すべて、米を含む穀類は21点、山菜・きのこは6点、肉・鶏卵・原乳は71点でした。その主な内容を以下に示します。

きのこについては、今回高い値が検出された栽培きのこの原木ナメコ（露地栽培）と野生きのこのが11月15日現在で出荷制限が継続されています。

一方、キュウリ、ダイコン、ブロッコリー、豚肉、原乳等放射性物質が検出限界値以下となっている作物等も多くの種類があります。

調査結果は、福島県のホームページ「ふくしま 新発売。」で簡単に検索できますので、確認し、納得のうえ是非いわき市産の農産物を御賞味ください。

放射性物質が検出されなかったもの数	規制値内で検出されたもの数	暫定規制値超過のあったもの数	計
124	37	1	162

1点も放射性物質が検出されなかった農作物・畜産物			暫定規制値を超過した農作物・畜産物
キュウリ	カブ	ハタケシメジ	原木ナメコ (露地栽培)
コマツナ	ナガイモ	秋 そ ば	
ダイコン	コンニャクイモ	豚 肉	
ニラ	マコモタケ	原 乳	
ブロッコリー	日本ナシ		
チンゲンサイ	リンゴ		



「秋の味覚サンマ」の水揚げがスタートしました。

10月15日(土)、小名浜魚市場において秋の味覚サンマが初水揚げされました。同魚市場への水揚げは、8月末のカツオ以来、1カ月半ぶりとなりましたが、サンマの水揚げは週に2~3回続いており(11月中旬現在)、魚市場にはサンマを運ぶトラックや関係者が集まり、本来の活気が戻りつつあります。

当初は風評の影響が心配されましたが、価格は、他県の魚市場と同程度かやや高めで取引されています。



(小名浜魚市場に初水揚げされた「サンマ」)

なお、水揚げされているサンマは、事前のモニタリング検査で安全が確認された海域で漁獲しており、さらに水揚げの際にも関係機関で検査を行い、放射性物質は検出されていないことが確認されています。



(新鮮な大ぶりの「サンマ」)

サンマには、ビタミンやDHA、EPAなどが豊富に含まれ健康にも良く、刺身、塩焼きはもちろん、サンマ鍋、ポーポー焼き（ハンバーグ）など、お好みの料理で味わってください。

併せて、東日本大震災で津波被害を受けたアクアマリンパークの施設の内、休業していた「いわき・ら・ら・ミュウ」が11月25日（金）にリニューアルオープンしましたのでお知らせします。この施設には、大型アーケードが設置され、雨天時の利便性が高まったほか、「子どもたちの海」をテーマにした東北最大級の屋内型あそび場が設置されますので、お子様連れの方も安心してどうぞ御利用ください。



いわき農業普及推進懇談会を開催

10月25日（火）、県いわき合同庁舎において、「いわき農業普及推進懇談会」を開催しました。

東日本大震災後の農業普及・指導活動を振り返り、今後の普及活動や営農対策に活かすため、関係機関や農業者代表の方より意見をいただきました。

震災後、いわき市の農業の復旧・復興を図るため、これまでに実施してきた土壌モニタリング調査、沿岸部の水稲・イチゴ等の塩害対策、風評被害対策としての「いわき農作物見える化プロジェクト」等への協力などを報告しました。

出席者からは、震災後、未だに風評被害が収束しない現状などについて報告があり、さらなる営農対策の必要性が確認されました。

平成23年度の普及活動計画に対しては、いわき地域の水田を活用した高収益農業の確立の実績として、飼料用米の作付面積の増加や農業者戸別所得補償制度への加入者の増加が顕著でしたが、他については震災後の復旧に時間が費やされ、目標値まで達していない項目が見られました。



（いわき農業普及推進懇談会の様子）

今後の普及活動については、特に農産物の風評被害や放射線対策などの情報提供、農業者の

経営安定化が必要であるとの意見があり、いわき農林事務所では関係機関と連携した重点的活動を展開していくこととしています。



「がんばろう ふくしま！」農産物直売所合同フェアと「ごちそうふくしま満喫フェア2011」を開催しました。

10月28日（金）、29日（土）の2日間、多くの消費者に県産農産物・6次化商品、観光のPR・販売による県の魅力アップと県産農産物等の一層の消費拡大を図ることを目的として、郡山駅前西口広場において県の主催により「がんばろう ふくしま！」農産物直売所合同フェアを開催しました。

両日とも相双地方以外の各地から10店舗の出店があり、いわきからは「ふるさとマルシェ」が参加し、サンシャインいわき梨、めひかり焼かまぼこ、めひかり塩チョコほか、いわきの加工品を販売しました。



（賑わう「がんばろう ふくしま！」直売所合同フェアの様子）

会場内では、ミニコンサートや起き上がり小法師の絵付け体験コーナーが開かれたほか、会津の郷土料理である「こづゆ」が来場者に振る舞われました。



（直売所合同フェアでの「起き上がり小法師」絵付け体験コーナー）

2日間で延べ約5,000人の来場者があり、「もっと放射性物質の検査をして」、「安全な物産品が販売されるようにしてほしい」、「懐かしいこづゆを久しぶりに味わうことができ嬉しい」といった声が聞かれたり、来場者の中には出身地に近い出店者と熱心に話し込む光景があちらこちらで見られるなど、賑わっていました。

次週の、11月5日(土)、6日(日)の2日間、福島市の駅前中心市街地において、佐藤知事を会長とする「ふくしま・地域産業6次化推進協議会」の主催により「ごちそう ふくしま満喫フェア2011」が開催されました。

このフェアは、原発事故の影響による風評被害の払拭及び本県の食を県内外にPRすることを目的としています。

フェアには、全県で130店を超える県内食関係者が出店し、いわき地域からは、県立平商業高等学校の「よっぺ屋」をはじめ、農産物直売所や水産関係加工業者など20店以上が参加して、いわき地域の「ごちそう」の魅力を発信しました。



(「ごちそうふくしま満喫フェア2011」の出店販売の様子)

会場では、来場者が県産食材を使った「ごちそう」に舌鼓を打ったり、新米コシヒカリがプレゼントされるスタンプラリーを楽しんだりしたほか、メインステージでは人気お笑い芸人のライブが行われるなど、約5万5千人の来場者で賑わいました。



いわき市中央卸売市場の災害査定が実施されました。

11月10日(木)、11日(金)の2日間、いわき市鹿島町のいわき市中央卸売市場において、国の災害査定が行われました。

この災害は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震によりいわき市小名浜で震度6弱を観測し、同市場南側の切土法面に地すべり性の崩落が発生したものです。

同市場は、青果・水産物など私たちの食生活に欠かすことのできない生鮮食料品や花きの卸

売をしており、いわき市をはじめ近隣地域の重要な流通拠点になっています。

被害箇所は、冷蔵施設やバナナ加工所施設の背後法面であり、崩れた土砂が施設に覆い被さり、青果物や水産物の供給に重大な支障を及ぼし被害拡大の恐れがあるため、この解消策として応急的に工事が実施されていました。

今後は、災害査定が終了したことで長期的な施設の安定を図るための復旧工事が実施されます。



(崩落した、冷蔵施設(左)とバナナ加工所施設(右)の背後法面)



平成23年度第1回「いわき地域産業6次化ネットワーク交流会」を開催

11月11日(金)、県いわき合同庁舎において、いわき地域産業6次化運営会議主催により、平成23年度第1回「いわき地域産業6次化ネットワーク交流会」を農林水産業者、商工業者、各支援団体などから約60名の参加により開催しました。



(戸井田いわき農林事務所長の開会あいさつ)

この交流会は、東日本大震災により大きく停滞したいわき地方の地域産業6次化を再起動することによりいわき地域農林水産業の復旧・復興を図ることを目的としています。

始めに、事務局よりネットワーク会員を対象として9月に実施した震災の影響について

のアンケート結果概要について説明し、次にアンケートで要望が多かった風評被害対策の状況として、本県の取組みである「ふくしま 新発売。」やいわき市の「見せます！いわき」などのほか、今後の6次化推進に向けた各種制度等について説明を行いました。

参加者は、地域産業6次化の推進及び東日本大震災からの復旧・復興のため、県や市の取組内容について理解を深めていました。

また、今回の「東日本大震災」を乗り越え6次化商品を開発し、11月より「郷の燦（さとのきらめき）」という商品名の「トマトソース」を発売した遠野産業振興事業協同組合の平子理事長より、商品開発の経緯や販売方針についての発表のほか開発商品の試食が行われました。

参加者は、試食のトマトソースのおいしさに舌鼓を打ちながら、説明に対して熱心に耳を傾けていました。参加者にとっては、6次化商品を開発する上で大きな参考となったようです。



(遠野産業振興事業協同組合が開発したトマトソース「郷の燦」)

交流会終了後は、会場内に展示された6次化商品を前に会員同士が情報交換を行い、相互の交流が図られました。

いわき農林事務所では、今後年度内に第2回交流会を開催し、いわき地域産業6次化を推進していくこととしています。

〈一般情報〉



「第50回優良木材展示会 (東日本大震災復興特別市)」 が開催されました。

10月27日(木)、いわき市内郷綴町の平木材市場において、福島県木材協同組合連合会及び株式会社平木材市場の共催により「第50回福島県優良木材展示会」が開催されました。

この展示会は、福島県産材の良質性を広く紹介するとともに、木材の需要拡大及び木材業界の一層の結束並びに協調を図ることを目的として毎年秋の需要期に実施されており、福島県産材のPR及び需要促進に寄与しています。本年は「東日本大震災復興特別市」として開催され

ました。

記念式典には木材関係者など約120名が出席し、来賓代表として福島県農林水産部長祝辞が披露され、県産材の供給を通じて林業・木材産業の振興に大きな貢献が果たされてきたことに対して謝意が述べられました。

特別市にはスギ、ヒノキやモミ等の優良な素材や製品が通常の約2倍の量にあたる素材1,900m³、製品1,000m³が入荷し、活気に満ちた競り売りにより高値で取引され、復興への歩みが続くことを関係者一同願っていました。



(復興特別市での競り売りの様子)



田んぼの学校「脱穀」を 実施

11月10日(木)、いわき市立夏井小学校において、同校と連携した「平成23年度田んぼの学校」第9回目の活動として、10月に刈り取った稲の脱穀を行いました。

脱穀は、現在ではコンバインやハーベスタ等の機械で行うのが一般的ですが、田んぼの学校では昔ながらの農具を使った脱穀を体験します。

今年の脱穀は千歯(せんば)扱きや足踏み脱穀機の2種類の機械を使って行いましたが、児童たちは初めて見る農具に興味を持ち、慣れない手つきでしたが、熱心に籾を収穫していました。



(千歯こぎを使った脱穀の様子)

脱穀後には、籾に混じったわらくずなどを分別するため唐箕(とうみ) という機械を使った作業を見学し、収穫した籾は、地元農家の籾すり機で玄米にしてもらいました。ようやく春以降の田んぼでの作業は終了となり児童たちは今年一年を振り返って満足した様子でした。



草野弘嗣小川町土地改良区 理事長が秋の叙勲の荣誉

11月11日(金)、皇居において、小川町土地改良区、草野弘嗣理事長に対し平成23年秋の叙勲・旭日单光章の勲章伝達式及び皇居での拝謁が行われました。

草野理事長におかれては、多年にわたる土地改良区の効率的かつ円滑な運営と土地改良事業の積極的な推進により、地域農業の振興に大いに寄与した功績が認められ、今回の受章となったものです。

草野理事長は昭和53年に理事に就任後、24年間にわたり自ら先頭に立って事業の推進に取り組み、その後、平成14年に理事長に就任されて以来、9年間にわたり豊富な識見と自身の農業経営の経験をもとに、地域農業経営基盤の整備促進に積極的に取り組まれる一方、台風

時には自ら排水機場施設に直接出向き運転管理を行うなど、率先して地域発展に御尽力されました。

また、平成14年からの6年間については、いわき市農業委員会会長としていわき市における農地等の利用調整に取り組みられるなど、地域農業の振興のため多大な功績を残されました。

受章のあいさつで農林事務所にお見えになられた際も、地域農業の発展のための強い思いを話していただきました。今後も地域農業のますますの発展のため、御指導を賜りたいと思います。



(勲章と賞状を手にする草野理事長(左)と戸井田農林事務所長)



いわき農林事務所からのお知らせ

ふくしまの最新情報を「ふくしま 新発売。」に掲載していますのでどうぞご利用ください。

<http://www.new.fukushima.jp/index.html>

- 1 「がんばろう ふくしま応援店！」一覧
- 2 イベント情報
- 3 農林水産物モニタリング情報
 - (1)モニタリング情報検索
 - (2)出荷制限等一覧表

「東日本大震災」及び「原発事故」からの復興のために！

がんばっぺ “ふくしま!!” がんばっぺよ “いわき!!”

皆様からのご意見・情報をお待ちしております。
 福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課
 〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地
 (県いわき合同庁舎 3階)
 TEL (0246)24-6152 FAX (0246)24-6196
 U R L <http://www.pref.fukushima.jp/norin-iwaki/>
 E- Mail iwaki.nourin@pref.fukushima.jp

